

発行所・自治労京都府本部・〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F
TEL.075-252-5932・FAX.075-231-4918 発行人・岡本哲也 編集人・森本尚秀
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

自治労京都府本部では、組合員のみなさんのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918
E-mail : jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
[http : //www.jichiro-kyoto.gr.jp/](http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/)



▶ウェブ参加で思いを訴える岸まきこさん



府本部は6月13日、ラポール京都で政治・政策学習会を開催し、全国比例および京都選挙区から7月の参議院選挙への立候補を予定している2名の候補予定者から決意表明のあいさつを受けた。学習会は、岡本委員長の主催者あいさつの後、平井解放同盟委員長、福山参議院議員などから連帯のあいさつを受けた。

全国比例区からの立候補を予定している岸まきこ参議院議員は、201

を埋めるべく、自治体や公共サービスの実態を訴えてきたと語った。特に、会計年度任用職員への勤め手当の実現に向けた法改正など、制度改善に力を尽くしてきたことを報告した。また、公共サービス基本法の改正を次の目標に掲げ、「地域で暮らす住民の命と生活を支える公共の役割を強化するために、現場の声を国政に届け続けたい」と力強く訴えた。

一方、京都選挙区から



▶政策を訴える
山本わかこさん

の立候補を予定している山本わかこさんは、京都北部を拠点に衆議院議員として活動してきた経験を踏まえ、地域に根差した政治の重要性を語った。特に、父親の闘病と高額療養費制度に支えられた経験から、医療制度の改善に強く反対する姿勢を示した。政府が進めようとした自己負担上限額

の引き上げについて「命を支える制度を守るのが政治の責任」と訴えた。また、選択的夫婦別姓の実現や、米価高騰と農業の危機に対応する政策の必要性を力説し、「弱い立場に寄り添う政治を取り戻すために、もう一度国政に挑む」を力だめた。

最後に、府本部ユニオンカレッジメンバーによ

の引き上げについて「命を支える制度を守るのが政治の責任」と訴えた。また、選択的夫婦別姓の実現や、米価高騰と農業の危機に対応する政策の必要性を力説し、「弱い立場に寄り添う政治を取り戻すために、もう一度国政に挑む」と力を込めた。

最後に、府本部ユニオンカレッジメンバーによる歌と演奏で2人にエールを送り、学習会を締めくくった。府本部は今後も、労働者と住民の暮らしを守る政治の実現に向け、取り組みを進めていく。



家計が第一

京都選挙区
山本わかこ



声を力に、
一歩前へ

比例区
岸まきこ

府本部が推薦する予定候補者

のだから▼日常生活、社会の中にも勇者は存在している。それは一人の特別な人でない。自分や誰かのために声を上げたり、新しい挑戦をはじめたり、行動したりする(できる)人はみな勇者だと思う▼人から褒められるためするのではなく自分の信念(思い)で動くことは簡単なようではなかなか大変である。みな自分のことで大変だからである。ならば、人のために何かしている「勇者」を応援できる社会であればいいと思う。(A)

▲2025人権期闘争勝利など、多くの課題に向けた方針を確認した

▲2025人勧期闘争勝利など、多くの課題に向けた方針を確認した

府本部は6月13日、第183回中央委員ル京都在開催。2025人勸期闘争やけた当面の闘争方針など3つの議案と中告を確認した。出席中央委員数は16単組画率は36・11%となった。

冒頭、岡本委員長は主催者を代表して、「人事院の民間給与実態調査が終わり、いよいよ人勸期闘争が本格化する。今年は全世代の月例給引き上げをめざし、署名活動などに取り組んでいる。また、通勤手当に関してもガソリン代高騰を受けて、交通用具利用者の実態を踏まえた改善を要請している。さらに、各市町村で人材不足が深刻化している。合格者の辞退や離職が相次ぎ、『人が足りない』と悲鳴があげられているが、その背景に

は、賃金だけでなく、長時間労働や休暇の取りづらさがある。だからこそ、働き方改革やハラスメント防止、男女格差の是正などを通じて『ここで働きたい』と思える職場にしないといけない。そのためにも7月の参議院選挙で組織内議員『岸まきこ』さんの上位当選をめざしたい。地域手当の交付税減額の見直しを実現できたい。組織内議員の力がある。自治労の発言力につながる。京都選挙区『山本わかこ』さんなども、各単



執行委員
岩田 真治さん
(八幡市職労)



執行委員
中村 怜さん
(城陽市職)



執行委員
池野 佑児さん
(福知山市職労)

執行委員に
選出された3人

組組合員のみなさんの全力でのご協力をお願いし

会場発言・答弁



岩崎中央委員
(国保労組)

▼八幡市職労・高橋中央委員：参議院選挙について

▼国保労組・岩崎中央委員：被用者保険の適用拡大により国保連の収入減や雇用問題が懸念される。引き続き社会保障検討委員会での議論と各単組の協力を要請したい。



岩崎中央委員
(国保労組)



高橋中央委員
(八幡市職労)

移り、すべての議案が可決・承認された。第3号議案では、欠員となった執行委員の補充が行われた【写真】。闘争宣言案を採択し、最後に中谷副委員長の団結カンパニーで閉会した。



▲答弁する
増永書記長

て。比例区は公務員の労働基本権回復をめざす自治労組織内「岸まきこ」さん、京都選挙区は「山本わかこ」さんの当選に向け、全力で支援をお願いしたい。

▼答弁・増永書記長：【国保】年金改革法成立による国保職員への影響について、制度改革と雇

用確保は一体の課題であり、府本部の社会保障検討委員会でも継続的に議論していく。【八幡】「岸まきこ」さんのトップ当選をめざし、自治労は30万票を目標に取り組みを強

化する。京都選挙区では「山本わかこ」さんの必勝に向け、府本部一丸で全力を尽くす。

双思交

最近「勇者」
だと思わせる人
を見かけ、気に
なって「勇者と

人勸期闘争、参議院選挙勝利に全力

安全衛生月間
2025年7月1日→31日 自治労

ハラスメント

そんなところ
からいけのー

しなない！させない！

見過ごさない！

伊藤 秀一

「鬼馬カニ」

漫画家・作家・脚本家 大沢幸平事務所（国）代表

雑誌、小説、映画、大河ドラマ等執筆中（国）代表

府本部スポーツ大会 軟式野球の部

京都市職が14年ぶりの優勝

府本部は6月21日、八幡市市民スポーツ公園グラウンドで第45回ソフトボール大会軟式野球の部を開催。4チーム92人が参加した。雨天のため2度の順延となり、快晴の中行われた。

1回戦・Aグループでは前年度優勝の京交労対組V自治労京都市職。京都市職は3-6で迎えた5回裏、2死2-3塁から3塁打と四球やエラーを絡めて一挙4点を奪いサヨナラ勝ち。決勝に駒を進めた。

Bグループでは京田辺市職と八幡市職が対戦。進一退の攻防の末、2-2の同点で試合終了。規定によるジャンケンで八幡市職が勝利した。

決勝は、自治労京都市職VS八幡市職。1回表、京都市職は相手先発投手の乱調による四死球などで2点を先制。3回にも四死球とパスボールで2点を追加した。3回裏、八幡はヒットと四球などを絡めて1点を返す。その後もランナーは出ずものの、追加点は奪えなかった。6回表に京都市が追加点を挙げ勝負あり。

自治労京都市職は2011年以来、14年ぶりの優勝。8月4日から奈良



▲自治労京都市職VS八幡市職の決勝戦



▲優勝した自治労京都市職チーム

単組名	1	2	3	4	5	6	7	R
自治労京都市職	2	0	2	0	0	1	0	5
八幡市職	0	0	1	0	0	0	0	1

組合活動を活性化しよう



JI-UP 情報交換・交流会

自治労京都府本部労組は職種や組合員数も様々。各単組の課題や悩みなどあれば相談にのり、解決に向けてともに考えていきたい」とあいさつした。

また、今夏の参議院選挙では、公共民間職場からの声を代表する「岸まきこ」さんの当選に向けてたたかいを展開することを確認した。

自治労京都府本部労組は職種や組合員数も様々。各単組の課題や悩みなどあれば相談にのり、解決に向けてともに考えていきたい」とあいさつした。

また、今夏の参議院選挙では、公共民間職場からの声を代表する「岸まきこ」さんの当選に向けてたたかいを展開することを確認した。

また、今夏の参議院選挙では、公共民間職場からの声を代表する「岸まきこ」さんの当選に向けてたたかいを展開することを確認した。

自分の賃金、自分で計算

府本部町村評は6月7日、京都市内で「賃金権利セミナー」を開催。4月に採用された新入組合員の中心に4単組17人が参加した。

冒頭、河島理絵議長はこの春入職した参加者に



▲自分たちの賃金を真剣に計算

町村評賃金権利セミナー

むけ、「入庁式から早くも2カ月が経過したが、職場の環境はいかがだろうか。しんどいこともあると思うが、そんな時はいつでも組合を頼ってほしい。本日は、私たちの給与の仕組みと自治労共済について学習していただく。とてもタメになる話なので、わからないことや気になっていることはたくさん質問してほしい」とあいさつした。

学習会では、等置町職の辻村詩織さんを講師に、「自分の賃金、自分で計算」と題した講演を受けた。参加者は地方公務員の給与制度や算定方法、各市町村間の制度の違いなどについて説明を受け、自分の給与明細を基に期末・勤続手当の支給額を計算するなど賃金の仕組みを学んだ。

次に、自治労本部が作成した自治労共済の説明動画を視聴。児玉前青年部長が労働組合の必要性と自治労共済の目的や活用について説明した。社会人になった今、マネープランを考える必要がある。人生でお金がかかる保険について、自治労共済は掛金が安く抑えられ、多くのメリットがあることを学習した。

棄権はキケン!! なぜ危険?

投票に行かない=今のままの政治でOK と言うのと同じことだから!

自民党の獲得議席数に関わらず、自民党に投票した人の数は、いつもそれほど変わりません。投票率が低いと固定票が有利に働きます。

投票率 **UP** ⇒ 政治が変わる!



労働条件のおおもとが法律で決められる、地方公共サービスに働く私たちは「政治に無関心」でも「政治と無関係」ではられません。

私たちの暮らしを守るため、必ず投票に行こう!

選挙区も比例代表も、投票は候補者名でね

期日前投票なら、公示日の翌日から毎日が投票日。

